

第42回九州肝臓外科研究会学術集会

オンライン開催

日時：令和4年2月19日(土)

テーマ：「百聞不如一見、百見不如一干」

当番世話人：吉住 朋晴(九州大学大学院 消化器・総合外科)



日本標準商品分類番号
87 2619

医薬品リスク管理計画
対象製品

保険適用

オラネジン製品紹介

外皮用殺菌消毒剤

オラネジン消毒液1.5%

オラネジン液1.5%消毒用 applicator 10mL・25mL
(オラネキシジングルコン酸塩液)

外皮用殺菌消毒剤

オラネジン®消毒液1.5%OR

オラネジン®液1.5%OR消毒用 applicator 10mL・25mL
(オラネキシジングルコン酸塩液)



【禁忌(次の患者には使用しないこと)】
本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

第42回九州肝臓外科研究会学術集会
オンライン開催
日時: 令和4年2月19日(土)
7:00-17:00(予定) 予定
★メインセッションホスト...

大塚 谷本
大塚 谷本
情報提供_大塚・梅田

大野慎一郎
大野慎一郎
打ち合わせ室事務
打ち合わせ室事務

吉住朋晴
吉住朋晴

別府 透
別府 透





第42回 九州肝臓外科研究会 学術集会
2022年2月19日(土)
主題1.肝切除周術期の分子標的治療薬使用の経験

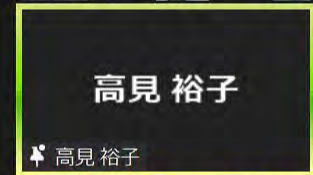


Kumamoto University

レンバチニブ投与後に肝切除を施行した 肝細胞癌症例の検討

- 1) 熊本大学大学院 生命科学部 消化器外科
- 2) 済生会熊本病院 外科

佐藤 寛紀¹⁾ 中尾 陽佑^{1,2)} 山下 洋市¹⁾ 小川 大輔¹⁾ 湯本 信成¹⁾
木下 翔太郎¹⁾ 白石 裕大¹⁾ 松本 嵩史¹⁾ 武末 亨¹⁾ 丸野 正敬¹⁾
甲斐田 剛圭¹⁾ 美馬 浩介¹⁾ 今井 克憲¹⁾ 林 洋光¹⁾ 馬場 秀夫¹⁾





九州肝臓外科研究会 COI 開示

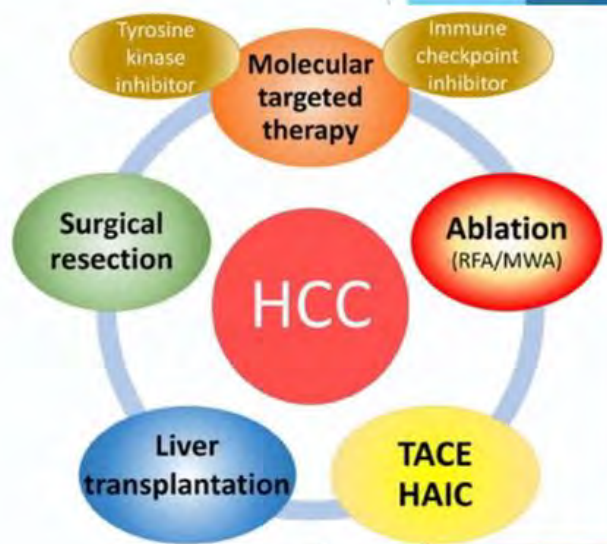
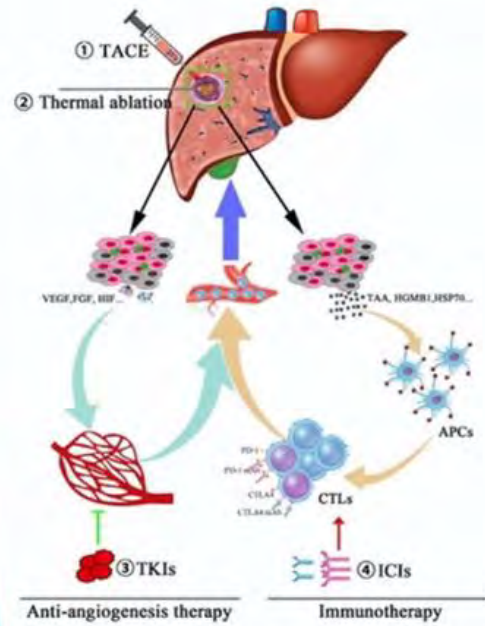
発表者名: 間野洋平、杉町圭史、大西恵美、島垣智成

演題発表内容に関連し、発表者らに開示すべき
COI 関係にある企業等はありません。





進行肝細胞癌に対する集学的治療



Xin Li, Front Mol Biosci. 2021 Apr 13;8:635243. doi: 10.3389

Yuji Eso, Hepatol Res. 2018 Jul;48(8):597-607



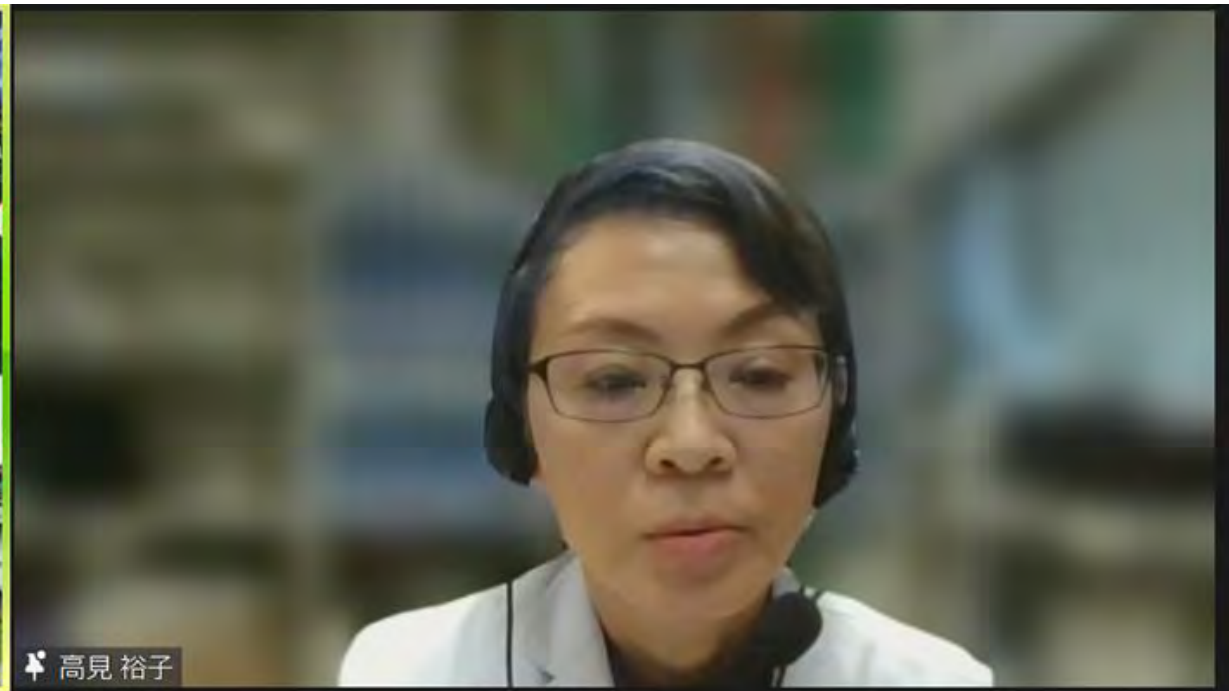


進行肝細胞癌に対する薬物療法後の 外科治療症例の検討

九州大学 消化器・総合外科

森田和豊、伊藤心二、利田賢哉、富山貴央、森永哲成、小齊侑希子、
富野高広、栗原 健、長尾吉泰、原田 昇、吉住朋晴







別府 透



高見 裕子



森田和豊



伊藤心二

第42回九州肝臓外科研究会学術集会



会 期:令和4年2月19日(土)
会 場:Web開催

『抗PD-L1抗体による治療にて腫瘍縮小を認め、 肝右葉切除が施行可能となった肝細胞癌の1例』

麻生飯塚病院 外科¹、肝臓内科²

萱島寛人¹、黒田陽介¹、岩崎恒¹、松本匡永¹、宮下優¹

坂野高大¹、田尻裕匡¹、武谷憲二¹、由茅隆文¹、甲斐正徳¹

本村健太²、古賀聡¹





COI

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業等はありません。

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 移植・消化器外科
日高匡章





肝癌治療における肝切除に関するアンケート調査

九州肝臓外科研究会

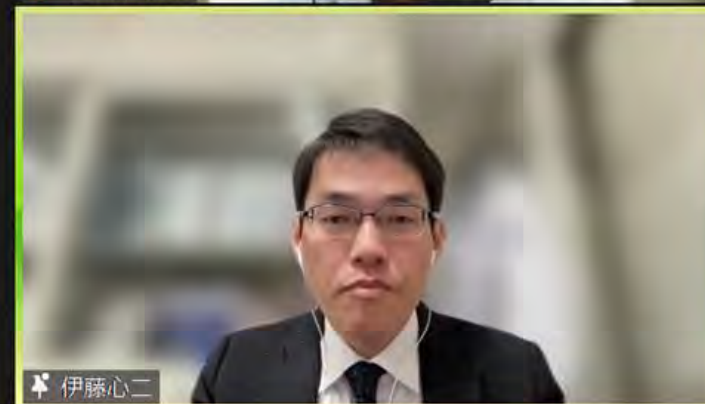
当番世話人

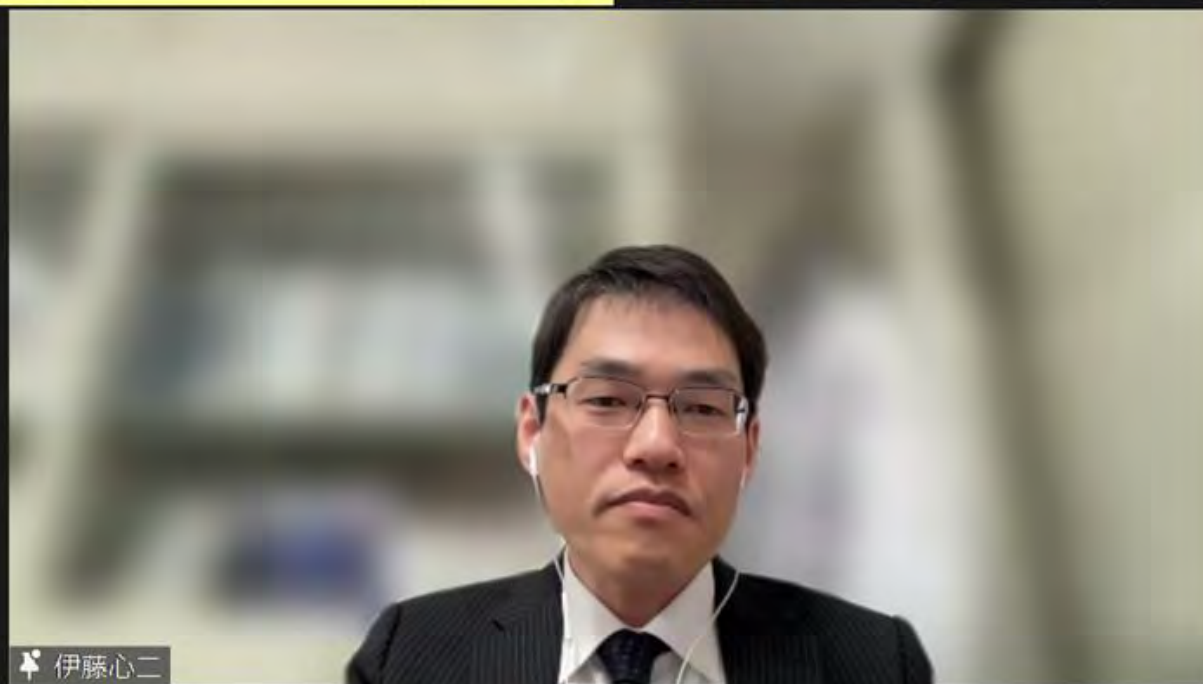
吉住朋晴 (九州大学 消化器・総合外科)

当アンケート実務担当

伊藤心二 (九州大学 消化器・総合外科)

日高匡章 (長崎大学 移植・消化器外科)







背景

- 再肝切除の腹腔鏡手術の有用性
- 症例によっては腹腔鏡手術が困難
- 適切な症例選択は重要

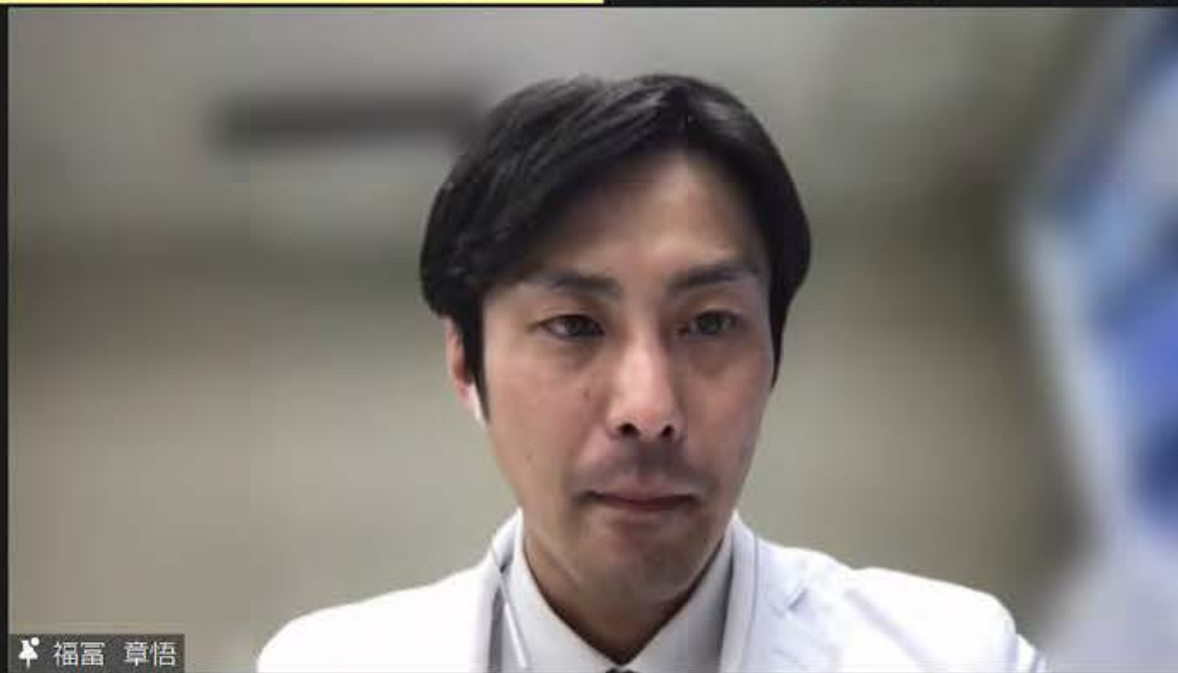


目的

- 当科における腹腔鏡下再肝切除の成績と現状を報告する。









第42回
九州肝臓外科研究会 学術集会

肝細胞癌に対する腹腔鏡下再肝切除術の検討
～適応困難例を見極める～

佐賀大学医学部 一般・消化器外科
田中 智和 江川紀幸 井手貴雄 能城浩和



Dept. of Surgery, Saga Univ. Faculty of Medicine









第42回九州肝臓外科研究会 学術集会

当番世話人: 吉住朋晴准教授(九州大学大学院 消化器・総合外科)

2022年2月19日

WEB開催

当科における腹腔鏡下再肝切除の短期成績の 比較による適応、安全性と有効性の検討

福岡市民病院外科

武石一樹、二宮瑞樹、池田真一郎、西村 章、川久保英介、西田康二郎、
江口大彦、東 秀史、桑野博行





第42回九州肝臓外科研究会 学術集会

COI開示

発表者名: 井口 友宏

演題発表に関連し、開示すべき
COI関係にある企業等はありません。





肝細胞癌に対する再肝切除症例の検討

佐賀県医療センター好生館 肝胆膵外科

古賀浩木 眞崎晴奈 江川紀幸 三好 篤 北原賢二





第42回九州肝臓外科研究会学術集会

当科の腹腔鏡下再肝切除術における工夫



- 1) 大分大学消化器・小児外科
- 2) 大分大学国際医療戦略研究推進センター

増田 崇¹⁾、河村 昌寛¹⁾、藤永 淳郎¹⁾、中沼 寛明¹⁾、渡邊 公紀¹⁾
川崎 貴秀¹⁾、平下 禎二郎¹⁾、遠藤 裕一¹⁾、太田 正之²⁾、猪股 雅史¹⁾







第42回 九州肝臓外科研究会
会期: 2022年2月19日
一般演題

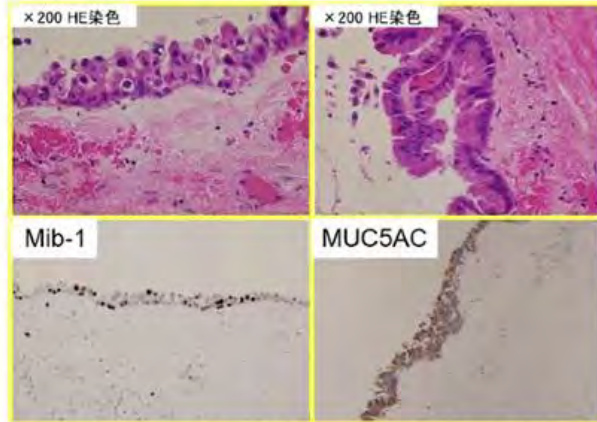
肝嚢胞天蓋切除術後に組織学的に 胆管内乳頭状腫瘍(IPNB)と診断し 根治的切除しえた一例

済生会福岡総合病院 外科¹
病理診断科²

伊勢田憲史¹、井口友宏¹、本坊拓也¹、定永倫明¹、加藤誠也²、松浦弘¹



病理所見



- 上皮細胞はやや核腫大、不整を認め、核の重層化を認める。
- Mib-1(+)であり、増殖細胞を認める。MUC5AC(+)であり、粘液産生を示す。
- 卵巣様間質は明らかでなく、上皮は部分的に出血を伴って脱落しており、梗塞様の壊死像も見られる。

➡ **診断:胆管内乳頭状腫瘍(IPNB)**



対象

2010年1月から2016年12月まで当科で肝細胞癌再発に対して再肝切除術を施行された91症例を対象とした。

方法

- 術前2週間以内の血液検査によりPNIを算出した。
PNI値が48.22以上をHigh群、48.22未満をLow群とした。
- High/Low群の臨床病理学的因子を比較し、術後予後および合併症との関連について検討した。
- 単変量解析・多変量解析にて全生存率の予後不良因子を検討した。





七島篤志

大塚 谷本

大塚 谷本



日高匡章



久下 亨



伊勢田 憲史



九州大学病院



山下 洋市

共有 一般演題1

共有 一般演題1

司会 一般演題1

司会 一般演題1

一般演題1 事務

一般演題1 事務

time 一般演題1

1/2

time 一般演題1

別府 透

別府 透

井口 詔一

井口 詔一

北里 周

北里 周

内藤 滋俊

内藤 滋俊

1/2

高槻 光寿

高槻 光寿

高橋 純一

高橋 純一

後藤 祐一

後藤 祐一

宇都宮 徹

宇都宮 徹

江畑 智広

江畑 智広

井口 友宏

井口 友宏

崇 増田

崇 増田

大野慎一郎

大野慎一郎



大塚事務局

賢二 北原

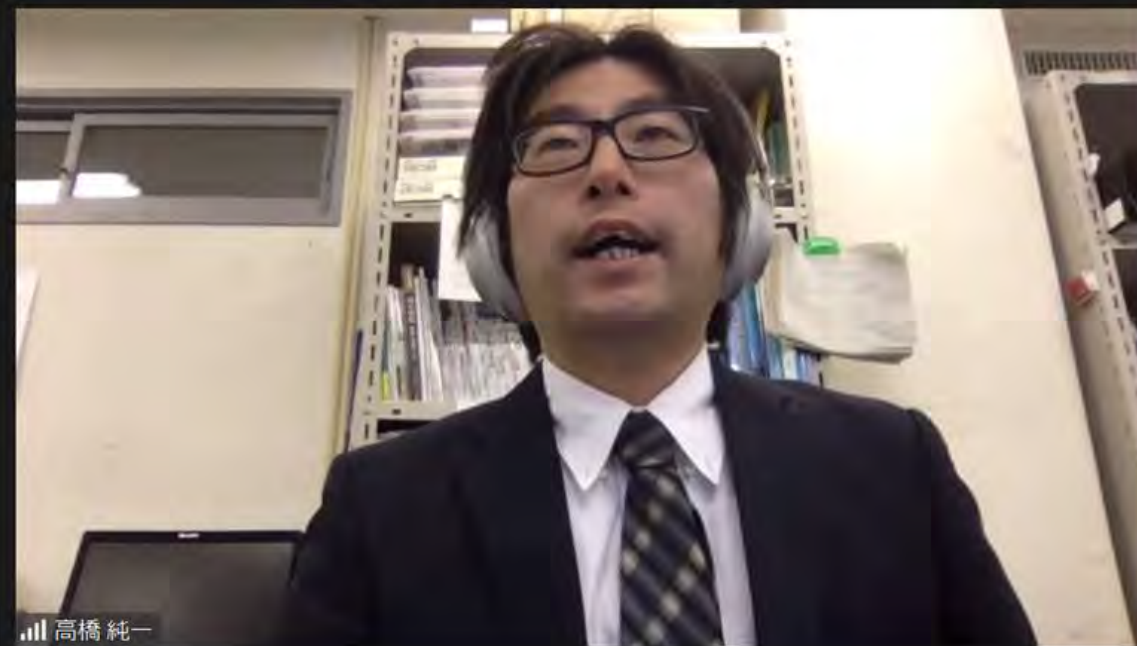
賢二 北原

第42回九州肝臓外科研究会
日時:令和4年2月19日(土)
会場:福岡国際会議場

肝膿瘍を契機に発見された、 同時性重複癌(胃癌、大腸癌)の1例

九州大学病院別府病院 外科

高橋純一、米村祐輔、安東由貴、小齋啓祐、大津 甫、武石一樹、
増田隆明、三森功士



高橋純一



Kumamoto University

創造する森 挑戦する火



松本 高史



速藤 裕一

第42回九州肝臓外科研究会 COI 開示

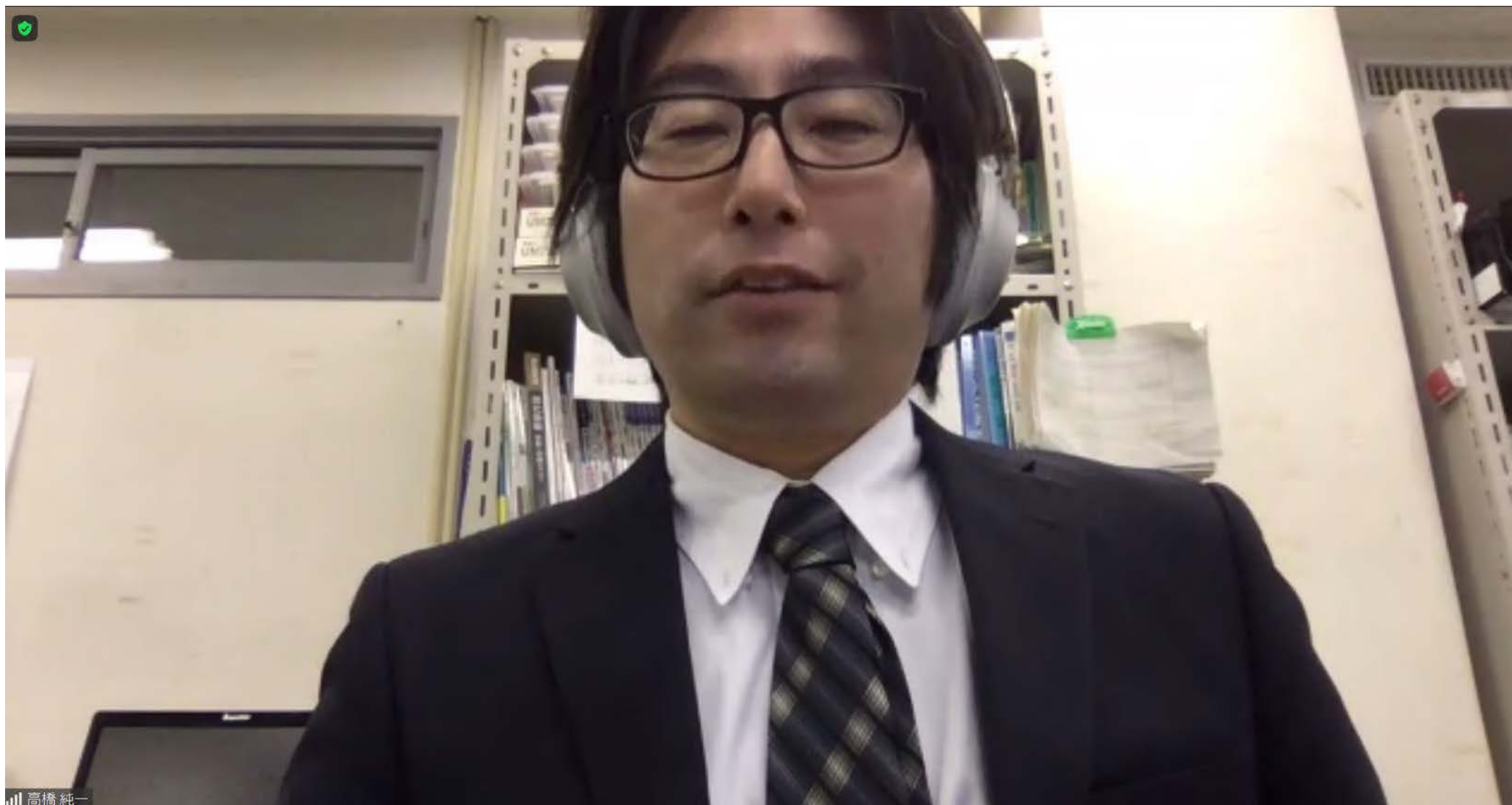
筆頭発表者名: 中島 正夫
所属機関名: 山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学

発表演題に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などとして

Category	No	Yes	If yes, give names of authors and entities.
1. Employment/Leadership position/Advisory role	✓		
2. Stock ownership	✓		
3. Patent royalties/licensing fees	✓		
4. Honoraria (e.g. lecture fees)	✓		
5. Fees for promotional materials (e.g. manuscript fee)	✓		
6. Research funding		✓	Toyo Kishida Co., Ltd., NEC Corporation, TAIHO PHARMACEUTICAL CO., LTD., Shionogi & Co., Ltd., MSD K.K., Eli Lilly Japan K.K., Onoika Pharmaceutical Factory, Inc., JMS Co., Ltd., Yokohji Houdai Co., Ltd., Astellas Pharma Inc., Onoika Pharmaceutical Co., Ltd., TSUMURA & CO., Kyowa Hakko Kirin Co., Ltd., Kabun Pharmaceutical Co., Ltd., NIPPON KAYAKU Co., Ltd., DAIICHI SANKYO COMPANY, LIMITED., Japan Blood Products Organization
7. Others	✓		

中島正夫





高橋純一

臨床的問題

- **肝嚢胞開窓術の目的**は、肝嚢胞壁を切除することにより内腔を腹腔内に開放し、嚢胞分泌液を腹膜から吸収させることにあるが、嚢胞の再被胞化を避けるために十分な開窓が必要。

それゆえ、嚢胞壁の広範囲切除が求められ、嚢胞により圧排された胆管を損傷するリスクが高まる。

*Lin TY, et al. Ann Surg. 1968;168:921-927.
Drenth JP, et al. Hepatology. 2010;52:2223-30.*

この合併症を予防するために、胆管の走行を把握する必要があり、**ICG蛍光法**を用いてリアルタイムに胆管を確認しながら開窓術を施行した症例を報告する。



第42回九州肝臓外科研究会学術集会
日時: 2022年2月19日(土)13:00~17:30
場所: Web開催

一般演題

肝細胞癌におけるICG蛍光法を用いた
術中標本観察と組織学的分化度に関する検討

九州大学大学院 消化器・総合外科

富野 高広、伊藤 心二、利田 賢哉、森永 哲成、
富山 貴央、小齊 侑希子、栗原 健、
長尾 吉泰、森田 和豊、原田 昇、吉住 朋晴



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY



富野 高広

低左心機能を伴った 巨大肝細胞癌の1例

1: 福岡徳洲会病院 外科

2: 福岡大学病院 消化器外科

内藤滋俊¹、乗富智明¹、長谷川傑²



背景-2

生体肝移植における後区域グラフト

- ドナーの肝左葉が小さい場合に右葉・拡大左葉ともに用いることができない場合がある。



後区域グラフトの使用が考慮される。

安全な摘出とレシピエントの良好な予後には、**適した脈管解剖**を有することが必要条件である。

Yoshizumi T, et al. *Liver Transpl.* 2014;20(9):1089-96.



栗原健

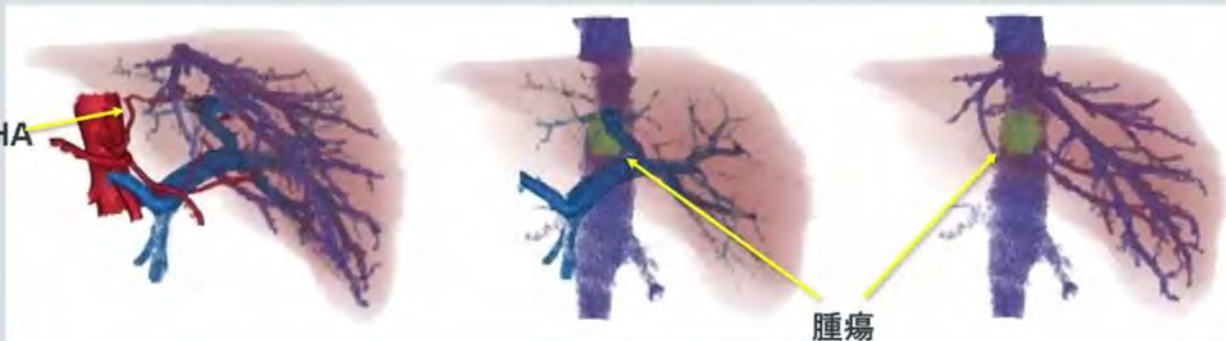


梶原 正俊

術前シミュレーション

3D再構築画像

replaced LHA



previous caudate lobectomy video



inverted video



動画反転再生



背景

病変数3個以下かつ病変径3cm以下の肝細胞癌に対する治療法は肝切除もしくはラジオ波焼灼療法(RFA)が推奨されている。

近年、腹腔鏡下肝切除術の有用性が報告されているが、腫瘍部位により手術難度は異なる。

特に、肝後上区域(S7,8)に存在する肝細胞癌は、その解剖学的特徴から、どの治療法を選択しても手技難度は高く、至適治療法に関してはいまだ不明確な点が多い。





Background

Case 1



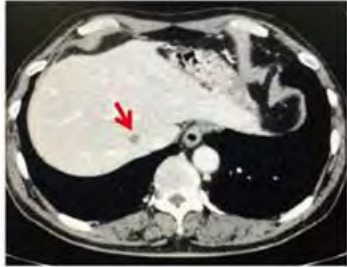
Case 2



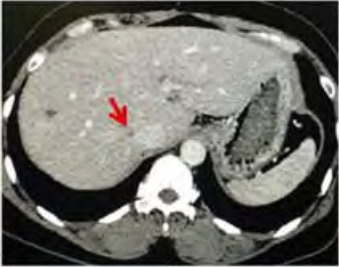
Case 3



Case 4



Case 5



後藤 祐一

肝切除後肝不全 (Post-hepatectomy liver failure: PHLF)

- これまで術後肝不全に関しては明確な定義がなかったが、2011年にInternational Study Group of Liver Surgery (ISGLS) により診断基準が明文化された。
- 術後5日目の高bilirubin血症・PT-INR延長が術後合併症・死亡率と相関するとの報告に基づき定義された。
(Rahbari et al. Surgery, 2011)

診断基準

術後5日目以降における高bilirubin血症かつPT-INRの延長(施設基準値を逸脱するもの)

Grade

GradeA: 臨床管理上、介入が必要ないもの。

GradeB: 臨床管理上、介入が必要だが、侵襲的治療を要さないもの。

GradeC: 臨床管理上、介入が必要で、侵襲的治療を要するもの。

ISGLSの定義に基づく、PHLFの発生率・死亡率の報告

	Fukushima et al.	Paugam-Burtz et al.	Skrzypczyk et al.	Truant et al.
発生率(%)	18.6	10	11.6	22
死亡率(%)	7.7	12.7	18.3	34.3



紀幸 江川

大塚 谷本

大塚 谷本



日高匡章



後藤 祐一



久下 亨

共有 一般演題1

共有 一般演題1



別府 透



内藤 滋俊

大塚 谷本

大塚 谷本



日高匡章



後藤 祐一



久下 亨

内藤 滋俊

内藤 滋俊

共有 一般演題1

共有 一般演題1



第42回 九州肝臓外科研究会
会期:2022年2月19日

S7、8領域病変に対する 腹腔鏡下肝部分切除の妥当性

大分県立病院 外科

井口 詔一、宇都宮 徹、豊原 絢子、堤 智崇、高山 洋臣、
二日市 琢良、寺師 貴啓、安田 一弘、池部 正彦、板東 登志雄



大塚 谷本

大塚 谷本



日高匡章



井口 詔一

別府 透

別府 透

time 一般演題1

time 一般演題1



久下 亨



第42回九州肝臓外科研究会学術集会

利益相反の開示

筆頭発表者名: 黒田陽介

**演題発表に関連し、演者らに
開示すべき利益相反関係に
ある企業などはありません。**







第42回 九州肝臓外科研究会 学術集会

COI開示

発表者名: 酒井 久宗

演題発表に関連し、開示すべき
COI関係にある企業等はありません。









利益相反の開示

発表者名：◎二宮瑞樹、武石一樹、池田真一郎、西村章、
西田康二郎、東秀史、桑野博行（◎代表者）

演題発表に関連し、演者らに開示すべき利益
相反関係にある企業などはありません。





📍 江口 晋



📍 山下 洋市



📍 二宮瑞樹 福岡市民病院



📍 九州大学病院

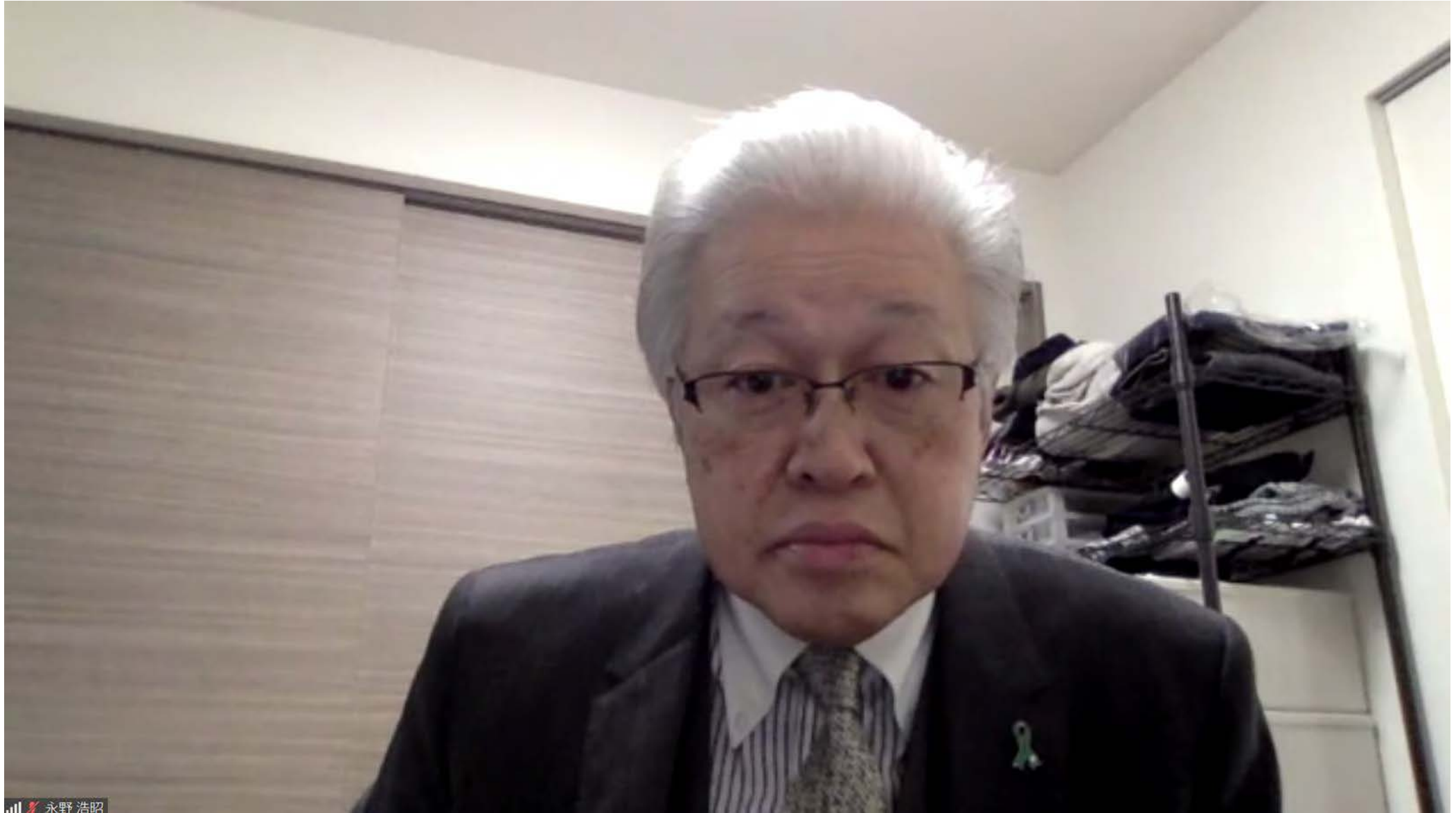
第42回 九州肝臓外科研究会 学術集会

COI開示

発表者名: 酒井 久宗

演題発表に関連し、開示すべき
COI関係にある企業等はありません。





永野浩昭





第42回九州肝臓外科研究会学術集会
2022年2月19日
主題3. 技術の伝承・こだわりの教育法

『長期予後を見据えたB4肝細胞癌の 治療戦略』の伝承

山鹿市民医療センター 外科
山村 謙介、別府 透、松村和季、
織田枝里、佐藤伸隆、赤星慎一

山鹿市民の心と健康への貢献
山鹿市民医療センター





永野 浩昭



日比 泰造



山村 謙介



九州大学病院





第42回 九州肝臓外科研究会

当番世話人: 吉住朋晴先生(九州大学大学院消化器・総合外科)

会期: 2022年2月19日

会場: Web開催

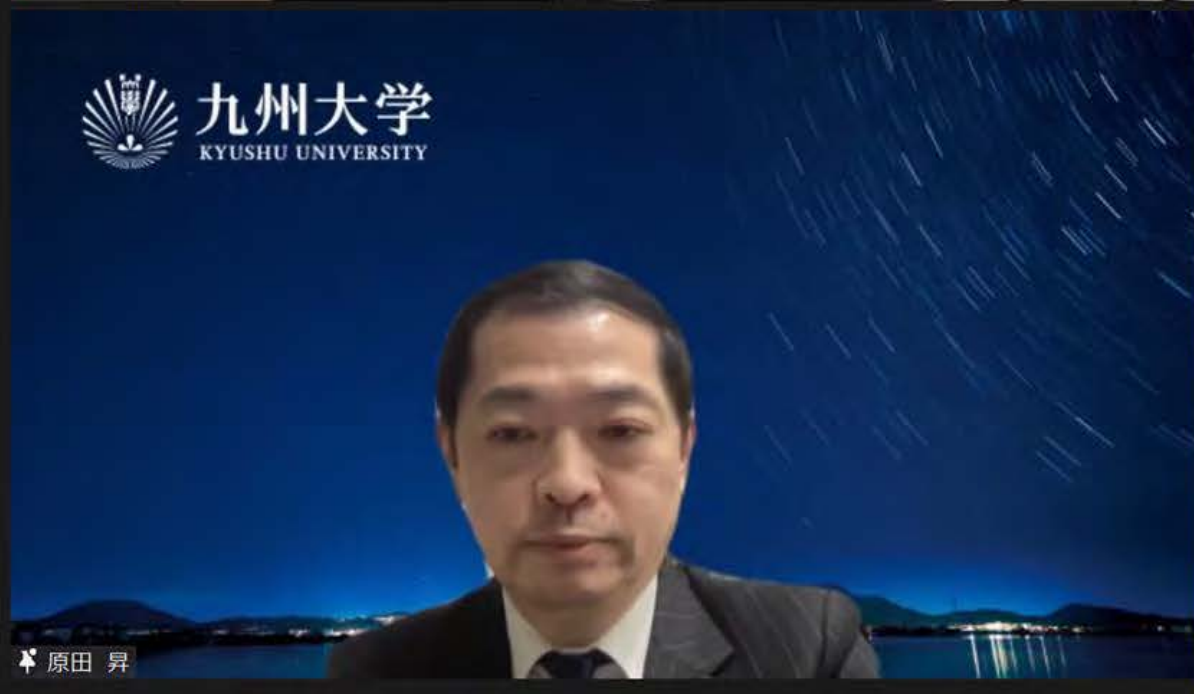
主題3. 技術の伝承・こだわりの教育法

当科における次世代を見据えた肝移植における教育

九州大学大学院 消化器・総合外科

原田 昇、吉住朋晴、伊藤心二、武石一樹、森田和豊、戸島剛男、長尾吉泰、
富山貴央、森永哲成、富野高広、栗原健、小斉侑希子、吉屋匠平









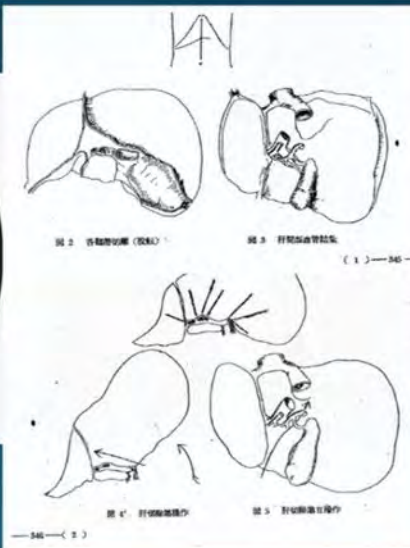
世界初の系統的肝右葉切除術 1949年3月7日

肝臓右葉（亜）全切除に就いて、*手術*, 4: 345-349, 1950.

Total resection of the right lobe of the liver. *J. Int. Coll. Surg.*, 23: 23-28, 1955.

本庄一夫先生の略歴と主な業績

- | | |
|--------------|-----------------------------|
| 1939年（昭和14年） | 京都帝國大学医学部卒業 |
| 1941年（昭和16年） | 兵庫県播磨赤松病院外科主任 |
| 1944年（昭和19年） | 高山赤十字病院外科医長 |
| 1948年（昭和23年） | 小倉記念病院外科部長 |
| | 肝臓新切除術
系統的肝右葉切除術
脾全摘術 |
| 1950年（昭和25年） | 京都大学附属医学専門学校教授 |
| 1952年（昭和27年） | 京都大学医学部講師 |
| 1955年（昭和30年） | 京都大学医学部助教授 |
| 1959年（昭和34年） | 金沢大学医学部教授 |
| | 門脈枝結紮術
肝門部静脈癌切除術 |
| 1965年（昭和40年） | 京都大学医学部教授 |
| 1977年（昭和52年） | 関西医科大学学長 |
| 1985年（昭和60年） | 日本腎臓学会会長 |
| | 関西医科大学理事長 |
| 1987年（昭和62年） | 逝去 |



永野 浩昭



日比 泰造



七島 篤志

鬼手 (是) 佛心

衆生に対する鬼のような残酷で大胆な、
手荒な行い～何かを救うための(内)心

鬼滅？全集中？

鬼～人間以上の力を持つ無慈悲な存在

反語～ **人面獣心**

仏教經典： 経営(企業)、武道、**医術** ...



鬼手分身Avatar



永野 浩昭



日比 泰造



七島 篤志





吉住朋晴

大塚 谷本

大塚 谷本

濱田隆志

濱田隆志



山下 洋市

第42回九州肝臓外科研究会学術集会 オンライン開催

日時: 令和4年2月19日(土)
テーマ: 「百聞不如一見、百見不如一干」

メインセッションホスト_KS (学院 消化器・総合外科)



久下 亨

メインルーム事務②

メインルーム事務②



日比 泰造



七島篤志



伊藤心二



永野 浩昭



矢永 勝彦



明彦 長崎大学 曾山

山村 謙介

山村 謙介



別府 透



九州大学病院

酒井久宗

酒井久宗

原 貴信

原 貴信



高槻 光寿



晋江口



高見 裕子



井口 友宏



崇 増田



高橋 純一



迫田 雅彦



井口 詔一



宇都宮 徹



大野 慎一郎



田中 智和



利田 賢哉



剛臣 濱田



福富 章悟



戸島 剛男



内藤 滋俊



黒田 陽介



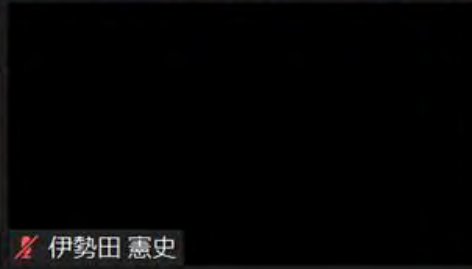
梶原 正俊



間野 洋平



賢二 北原



伊勢田 憲史



島垣 智成

共有PC メイン

共有PC メイン

メインセッション_k...

メインセッション_k s確認

メインルーム事務①

メインルーム事務①

大塚 嶋田 和洋

大塚 嶋田 和洋

森田和豊

森田和豊

三好 篤

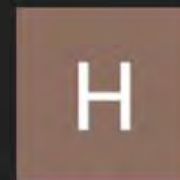
三好 篤

王 歓林

王 歓林

事務局

事務局



萱島 寛人



大塚事務局

第42回九州肝臓外科研究会学術集会

2022年2月19日(土) オンライン開催

